

令和5年度二宮町町民活動推進補助金交付団体活動現場確認報告

| | |
|--------|--------------------------------|
| 団体名 | みんなの一色子ども食堂 |
| 事業名称 | 子ども食堂・0円ショップ・食料支援者への配布・クリスマス事業 |
| 補助金額 | 200,000円 |
| 現場確認日時 | 令和5年7月21日(金) |
| 開催場所 | 百合が丘児童館 |
| 出席委員 | 事務局にて確認 |



事業の概要

【子ども食堂】

働いている母親が、一食でも作らないで子供達と楽しく食事が出来る食堂及び地域の方々どなたでも参加できる食堂。



現場確認の内容

17時～19時開催の会場では、100食が用意され、17時～18時の段階で29人が来場され、最終的には50人が子ども食堂を利用された。

運営にあたっては、スタッフに栄養士が参加しており、食品衛生の管理が行われていた。

事務局のコメント

- ・この活動について来場者は、回覧や掲示板、過去に参加した世帯の口コミ等で知ったようです。
- ・ひとりで来場されている高齢者も見受けられましたが、大半が親子での利用であり、この活動へのニーズも高いのだと感じました。
- ・今回、掲示板を見て初めて利用された方もおり、周知方法次第では、利用者はまだまだ増えるものと思われます。

令和5年度二宮町町民活動推進補助金交付団体活動現場確認報告

| | |
|--------|----------------|
| 団体名 | もりびとNOA |
| 事業名称 | 風土再生と多様な学びを二宮に |
| 補助金額 | 200,000円 |
| 現場確認日時 | 令和5年7月29日(土) |
| 開催場所 | 二宮農園 |
| 出席委員 | 馬場委員 |



事業の概要

前年度に引き続き、二宮町が持っている桃源郷とうたわれたほどのポテンシャルを活かし、二宮の自然環境を再生し、多様な学びができる場所を創造する。地元で多様な学びができる環境を作ることによって遠方に行かずとも多様な経験ができ、「自分で主体的に行動すれば変えることができる」という民主主義に不可欠な点を学ぶ極めて重要な場所を作り町民の皆様に還元したい。

現場確認の内容

当日の「いかだづくり」イベントには、参加者(子ども)とその家族、スタッフやボランティアの合計30名ほどが参加していた。

団体メンバーの指導のもと、事前に用意されていた竹を皆で協力しながら筏を組む様子が見受けられた。

また、イベント途中には、安全確保をしたうえで、メンバーによる「竹の切り出し」のデモンストレーションもあった。

出席委員のコメント

1. 伐採された竹を使っでの「筏づくり」のイベントでしたが、私の事前の予想以上に老若男女が集っており、自然に溶け込んで楽しんでいる姿に大変感銘しました。
2. 特に、男女を問わず子供たちが、周囲の大人から教えもらいながら、夢中になって取り組んでいるシーンは、現在では失われてしまった、日本社会の原風景を彷彿とさせるものがありました。
3. 里山に恵まれた二宮町ならではの町民活動であり、今後も是非とも継続してほしいテーマですが、一方では、公的支援が終了した後の組織的な活動の継続のため、特に「資金面」「体制面」「運営面」に不安が残ります。

令和5年度二宮町町民活動推進補助金交付団体活動現場確認報告

| | |
|---------|--------------------------------|
| 団 体 名 | みんなの一色子ども食堂 |
| 事 業 名 称 | 子ども食堂・0円ショップ・食料支援者への配布・クリスマス事業 |
| 補 助 金 額 | 200,000円 |
| 現場確認日時 | 令和5年8月27日(日) |
| 開 催 場 所 | 百合が丘児童館 |
| 出 席 委 員 | 大河原委員 |



事業の概要

【0円ショップ】

野菜、米、ラーメン等を購入し又、地域の方々から頂いた衣料品、雑貨等を無料で差し上げるショップ。



現場確認の内容

11時～12時開催の会場では、延べ58組の方が訪れた。

開場を待つ方々が行列をつくり、事業の人気さがうかがえた。

米、野菜、インスタント食品、衣類、雑貨が並ぶが、とりわけ米と野菜の需要が高く、20分程で無くなっていた。

また、スタッフでもある高校生によるダンス指導も行っていた。

出席委員のコメント

今回0円ショップの現場確認をさせていただきました。開場前よりかなりの方が並んでいて地域の方々への関心の高さがうかがえました。食料品や衣類、食器など多くの物が有り、来場された方々の評価も良好のようでした。様々な物の価格が上がっている状況でのこのような活動は今後とも必要であると再確認致しました。

問題点としては活動されている方に若い方が少ない為、継続的な活動の為に積極的に若い方の参加を促していただければと思います。

令和5年度二宮町町民活動推進補助金交付団体活動現場確認報告

| | |
|--------|----------------------|
| 団体名 | あそびの庭 |
| 事業名称 | 子ども真ん中居場所事業「はらっぱベース」 |
| 補助金額 | 200,000円 |
| 現場確認日時 | 令和5年9月11日（月） |
| 開催場所 | みらいはらっぱ |
| 出席委員 | 山岡委員 |



事業の概要

自然豊かな東京大学果樹園跡地のみらいはらっぱエリアを借りて実施している、受け入れ条件のない、「誰でもどうぞ」の居場所事業。2021年12月からプレオープンし、1年4ヶ月が経ちました。来場者は増えて不登校（傾向）の小中学生も一定数来場するようになり、活動の質を高めていく必要があると同時に、運営資金は不足しており、資金調達方法の見直しも行いたいと考えています。そのため今年度は、スタッフ研修、ホームページリニューアル、団体活動の広報に力を入れます。



現場確認の内容

8月のお盆期間中は休止しており、21日から再開したが、暑さのせい利用者数が少なくなっているとのこと。

当日はスタッフ2名と、ボランティア1名で対応していた。

出席委員のコメント

常連の子ども5人が中心メンバーで、そのほか未就学児の親子も多く参加しているとのこと。この日は朝早かったこともあり、子ども1人、未就学児2人の利用であった。平日は月～金まで毎日オープンしたいと考えているがスタッフの負担も考慮し現状は月水金の活動となっている。活動を継続する中で、農家の方からの食材提供や近隣のお弁当屋さんとの連携、町内の他のフリースクールとの情報交換等、さまざまつながりが生まれている。近隣住民の方との関係も良好とのこと。活動資金は寄付と助成金頼みで十分ではないが、活動場所に会の財政状況を掲示するようになってから寄付が少し増えてきた。

また、町の補助金活用により作成中のホームページに寄付による支援が容易にできるような仕組みを搭載する予定とのこと。

利用者にとっては大切な場所になっており、スタッフの皆さんも前向きに活動している様子がうかがえました。活動を継続する中で支援者が増え、また、町内をはじめさまざまなつながりが生まれており、土台が整いつつあるように感じます。他方で現在の活動場所（みらいはらっぱ）の契約は令和9年度までとのことで、長期的な見通しが立てられないことが残念です。

令和5年度二宮町町民活動推進補助金交付団体活動現場確認報告

| | |
|---------|--------------------------------|
| 団 体 名 | みんなの一色子ども食堂 |
| 事 業 名 称 | 子ども食堂・0円ショップ・食料支援者への配布・クリスマス事業 |
| 補 助 金 額 | 200,000円 |
| 現場確認日時 | 令和5年9月15日(金) |
| 開 催 場 所 | 百合が丘児童館 |
| 出 席 委 員 | 豊田委員、米田委員 |



事業の概要

働いている母親が、一食でも作らないで子供達と楽しく食事が出来る食堂及び地域の方々どなたでも参加できる食堂。

現場確認の内容

17時～19時開催の会場では、80食が用意され、17時～18時の段階で50人が来場し、最終的には66人が子ども食堂を利用していた。

出席委員のコメント

【豊田委員】

会員の役割分担がしっかりできていて、受付から食事の提供までスムーズでした。子ども向けに甘口のカレーを用意したり、ハーブの好き嫌いを確認したりして、細かい配慮をしていると感じました。テーブルの配置や着席の向きなどで感染症対策を行っていました。この日は昔遊び名人会の方々が折り紙やけん玉で遊ぶコーナーを設けていました。子どもたちが遊んでいる間、保護者同士はおしゃべりをして寛いでいる様子でした。一人で来られた高齢者の方たちは食事が済むとすぐに帰っていかれたので、ひとり暮らしの人などがひと時でも交流できる場になればと期待します。来場者の3分の2が大人だそうで、活動を継続していくためにも食事代（この日のカレーはお替わりしても大人100円）を上げて活動資金を自力で集めることや、他の補助金を積極的に活用することを検討してほしいと思います。親子の来場者は「友だちと一緒にご飯を食べられるのがいい」「大勢で食べるのが楽しい」「一日だけでも夕食の仕度のことを考えなくてすむのは、ほっとできる」などと話していました。

【米田委員】

最初はお一人で利用されるご年配の方が数名いらして、そのうちのお一人からは「20分かけて歩いて来る。冬は暗くなるのが早いから来づらい」とお話があり、この方に限らず来たくても足が無いという問題もあるのではと感じました。今回は《昔遊び名人会》さんもいらっしゃり(2回目)、「お母さん達がおしゃべりできるように」とお子さんたちが折り紙やけん玉などで遊べるスペースが設けられていました。食べ終わったお子さんたちが集まり、多世代交流の機会にもなっており、お母さんたちが少しでも息抜きできるようにとの気遣いで、ただ食事を提供する以上のものを感じました。小さいお子さん連れのお母さんからは「1食でも誰かに作ってもらえるのは本当にありがたい。このような町に必要な活動は町が継続的にサポートをして欲しい」との声もあり、考えさせられました。

令和5年度二宮町町民活動推進補助金交付団体活動現場確認報告

| | |
|--------|----------------------|
| 団体名 | あそびの庭 |
| 事業名称 | 子ども真ん中居場所事業「はらっぱベース」 |
| 補助金額 | 200,000円 |
| 現場確認日時 | 令和5年10月2日（月） |
| 開催場所 | みらいはらっぱ |
| 出席委員 | 高見委員 |



事業の概要

自然豊かな東京大学果樹園跡地のみらいはらっぱエリアを借りて実施している、受け入れ条件のない、「誰でもどうぞ」の居場所事業。2021年12月からプレオープンし、1年4ヶ月が経ちました。来場者は増えて不登校（傾向）の小中学生も一定数来場するようになり、活動の質を高めていく必要があると同時に、運営資金は不足しており、資金調達方法の見直しも行ってみたいと考えています。そのため今年度は、スタッフ研修、ホームページリニューアル、団体活動の広報に力を入れます。

現場確認の内容

12時頃の現場確認で、当日は小学生4名と中学生1名、保護者1名が来場していた。

出席委員のコメント

<感想>

不登校という一人ひとり異なる背景を持った子供たちに向けた活動は、画一的になりがちな教育現場では解決が何しい課題であり、その問題に地道に取り組まれていることに感謝したいと思います。

そして、それを個人のボランティア活動に終わらせず、団体（組織）としての取組みに作り上げていこうという姿は町民活動のお手本と言えると思います。

<期待すること（要望事項）>

2年間の活動は貴重であり、3年目に入った早い時点で、同じような子どもを持つ親だけではなく、学校の先生方、この活動を応援している人たち（120人のあそび人）、他の自治体で同じような活動をしている人たちにに向けて、具体的な事例を聞くことができる機会を持っていただきたいと考えます。できれば講演会形式ではなく、関わっている皆さんが語り会い、後半はその場に参加したみなさんと意見交換するような場を希望します。

また、可能であれば2023年5月発行の報告書にある「来場者の声」を書かれた方などにも匿名で参加し、お話しに加わっていただけるとなおいのですが・・・。（これはかなり難しいことだと思うのであくまで希望です）

「不登校」は、ややもすると書かれたものを読んで理解したつもりになりそうなテーマですが、具体的に動いて得たこと（事例）は何物にも代えがたいと思っています。

令和5年度二宮町町民活動推進補助金交付団体活動現場確認報告

| | |
|---------|--------------------------------|
| 団 体 名 | みんなの一色子ども食堂 |
| 事 業 名 称 | 子ども食堂・0円ショップ・食料支援者への配布・クリスマス事業 |
| 補 助 金 額 | 200,000円 |
| 現場確認日時 | 令和5年10月13日(金) |
| 開 催 場 所 | 百合が丘児童館 |
| 出 席 委 員 | 手塚委員長 |



事業の概要

働いている母親が、一食でも作らないで子供達と楽しく食事が出来る食堂及び地域の方々どなたでも参加できる食堂。

現場確認の内容

【食糧支援者への配布】

今回より農林水産省に申請した政府備蓄米※の配布を開始した。240キログラムを順次配布していくが、当備蓄米は「食育」のための物であり、子どもがいる家庭にのみパンフレットを添えて配るもので、生活困窮家庭であっても子どもがいない世帯には配布できないとのことだった。

※『政府備蓄米』

今までは、かながわフードバンクにて受領していたが、令和5年度より団体が農林水産省へ直に申請する手法に変更された。



出席委員のコメント

お困り家庭への食糧配布を見学した。

百合が丘児童館のホールに集められた食材は100点以上あり、10個の段ボールに手際よく仕分けていた。今回は、フードバンクかながわからの各種食材や調味料等も加わり、通常よりも多いと関係者は言っていた。また、政府の備蓄米(学校給食用)も譲り受けており、子どものいる家庭に配布の準備を進めていた。

その後、配布方法や状況を確認しており、既に利用者とはコミュニケーションができているため、宅配便の置配の要領で配布していた。

配布する家庭は、お困りの状況がある程度把握ができる状況にある「みんなの一色子ども食堂」のメンバーの推薦で決定するとのこと。

令和5年度二宮町町民活動推進補助金交付団体活動現場確認報告

| | |
|--------|----------------------|
| 団体名 | あそびの庭 |
| 事業名称 | 子ども真ん中居場所事業「はらっぱベース」 |
| 補助金額 | 200,000円 |
| 現場確認日時 | 令和6年1月26日（金） |
| 開催場所 | みらいはらっぱ |
| 出席委員 | 小林委員 |



事業の概要

自然豊かな東京大学果樹園跡地のみらいはらっぱエリアを借りて実施している、受け入れ条件のない、「誰でもどうぞ」の居場所事業。2021年12月からプレオープンし、1年4ヶ月が経ちました。来場者は増えて不登校（傾向）の小中学生も一定数来場するようになり、活動の質を上げていく必要があると同時に、運営資金は不足しており、資金調達方法の見直しも行って考えています。そのため今年度は、スタッフ研修、ホームページリニューアル、団体活動の広報に力を入れます。

現場確認の内容

現場確認の1時間で大人7人、子ども5人が利用しており、利用者が増加傾向であるとのこと。

また、最近若い男性がボランティアで入り、運営上とても力になっているが、依然、スタッフ不足に悩んでいる。

出席委員のコメント

【状況】

1月26日（金）10時30分～11時30分で訪問。この日は子ども4人がボール遊びをしたりお話しをしたりと自由に過ごしていました。また、町外から1名が寺子屋イベントに参加。町外からの参加者が普段から多いこともあり、町外のニーズを確認することができました。2名のスタッフが常駐しており、管理体制は徹底していました。

【課題ヒアリング】

運営資金と人材の確保が課題とのこと。運営資金では、毎月の資金状況を可視化することで、「遊び人」と称する個人からの寄付が増加しており、訪問者が寄付金箱に寄付しやすい環境を整えていました。収支報告を見ても年々増えている。しかし、企業協賛については今後の可能性があり、企業のブランディングや社会貢献事業と結びつける提案を行えば、さらなる資金確保に繋がると考えられます。人材に関する課題では、地元の高中生や中学生、または夏や春の長期休みを利用した大学生インターンの受け入れが、教育の実践活動に役立ち、運営の支援にもなると思われます。

【全体的な所感】

子どもとスタッフとのコミュニケーションはスムーズで、子どもたちの満足度も高いと感じました。施設の契約が令和9年度で終了するとのことですが、二宮町内での継続的な運営を強く望みます。また、ホームページや活動報告書、イベントチラシなどの広報についても、スタッフが工夫を凝らしながらしっかりと取り組んでいる点に感銘を受けました。

令和5年度二宮町町民活動推進補助金交付団体活動現場確認報告

| | |
|--------|----------------|
| 団体名 | 相州わかなご席亭会 |
| 事業名称 | 相州わかなご寄席 |
| 補助金額 | 50,000円 |
| 現場確認日時 | 令和6年3月23日(土) |
| 開催場所 | 町民センター 老人クラブ室 |
| 出席委員 | 米田委員、馬場委員、高見委員 |



事業の概要

古典芸能のプロの中でも若手演者の芸を鑑賞する会を開く。

新たなことにチャレンジする姿勢と、伝統を重んじる古典芸能の世界に触れ、年齢に関係なく参加できる活動を通して、地域に住む人同士の交流を活発にする。

また、町内で本格的な演芸・芸能を鑑賞できる場を設けることで文化レベルの向上を目指す。



現場確認の内容

当初20人ほどの集客を予測していたが、実際には108人もの客で賑わっていた。

既に第2回目の寄席を企画しており、より多くの集客を目指しているとのことであった。

【米田委員】

108名の方がご来場との事で、予想を大きく上回り、皆さんの需要をととても感じました。

当日みえていた若いお母さんに少し話を聞いたところ「来れなくなった人の予約分(1人分)で来た、当日でも入れると思ったが聞いてみたらもういっぱいと言われ、子どもは連れて来れなかった」と仰っていました。

今回ご年配の方が多くはありましたが、地元での開催はどの世代でも気軽に落語に触れる機会になると思うし、私自身、中学生の時に初めて見た落語がとても印象に残っているので、今後若い世代の方にもぜひ来ていただきたいなと思いました。

【馬場委員】

1. 主催者の予測の数倍という参加者数となり、大盛況の寄席となりました。参加者からは、「久しぶりに楽しめた」との感想が圧倒的でした。素晴らしい活動です。予想通り、参加者はシニア中心で、6割以上が女性という構成です。しかし、ファミリー層も散見され、想定以上に若い年代層にも支持されているように感じました。
2. 会場が和式（舞台と畳形式）で寄席にピッタリの雰囲気ながら、高齢者が多いことから、ひざ痛&腰痛を避けるため座布団席のほか、窓側に臨時にパイプ椅子が設置されました。主催者のきめ細かな配慮でしたが、数的にはまだ足りない感じです。
3. 今回のイベントでは、組織運営とPR活動には全く問題がない一方、将来組織として自立できるようになるための、運営資金面の不安が残ります。
予測される当面の課題を克服して、ぜひとも町民の期待に応え、活動の定着化を図って欲しいと思います。

- 今後、参加費をどうするか（現状のワンコイン・500円に拘るかどうか）？
- 参加費以外の収益源（今回は、タオル等のグッズ販売を実施）をどう確保するか？
- もっと広い会場確保は検討できないか？

まさに「<笑い>はすべてを癒す」を実感した一日でした。

【高見委員】

- ・予想以上の来場者があり良かったと思います。計画書に記されているように「町全体で若い人たちを応援する気質が広まる」ことを期待しています。
- ・計画書にもう一つ記されている、「地域コミュニティに参加する機会がない世代（20代後半から30代で子育てに携わっていない人など）」の参加がほとんどなく、大半が高齢の方だったのはちょっと残念でした。次回開催の際の課題にしていだければと思います。
- ・あえて未完成の「二つ目」を起用したのは成功だと思います。ベテランの落語家では、テレビと同じですから。

令和5年度二宮町町民活動推進補助金交付団体活動現場確認報告

| | |
|---------|---|
| 団 体 名 | もりびとNOA |
| 事 業 名 称 | 風土再生と多様な学びを二宮に |
| 補 助 金 額 | 200,000円 |
| 現場確認日時 | — |
| 開 催 場 所 | — |
| | <p>【釣り教室】未実施</p> <p>釣り教室前に会のメンバーが講師となり、釣り教室で使用する疑似餌作成体験を予定していたが、講師の都合がつけられず体験イベントが流れてしまった。</p> <p>その後、12月頃の釣り教室開催を目標としていたが、会員の大半が就職活動に入り事業実施が困難になったことにより、釣り教室の中止を決定したとのこと。</p> |